

2025 年度事業計画

1. 基本方針

南町田グランベリーパークにおいて、公園、商業施設、パークライフ・サイト（以下、まとめて「3施設」とする。）という、まちの3つの機能が連携しながら、まち全体を楽しく使いこなし、まちのブランディング・活性化に資する活動に積極的に取り組むことで、南町田ならではの”みどり“と”にぎわい“が融合したパークライフをより魅力的なものに醸成していくことが期待される。

2025 年度は、昨年度取り入れた資金助成対象事業の評価制度の運用を見直しながら定着させ、3施設の運営主体がまち全体を使って実施するイベント等の活動の内容をブラッシュアップさせていく。

また、3施設間の連携時の事務業務は継続して支援しながら、新たな取り組みとして、地域プレイヤーの受け皿を広げ、プラットフォームに関わることに可能性を感じる市民を増やし、将来の担い手を育成する。

2. 2025 年度予定実施事業

（1）資金助成事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に対する資金助成を行う。また、資金助成事業の効果測定について、基礎データを整理し、分析方法を検討する。

（2）資金収集・管理事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に必要な資金収集を行い、管理する。

資金収集事業の一環として、南町田グランベリーパークの視察依頼に対応し、視察料を収受する。また、寄付募集の周知を図っていく等、継続して新たな資金収集の方策を検討する。

以上

【参考】

◇2024 年度の振り返りと 2025 年度の方針

本年度は、地域プレイヤーの受け皿となるプラットフォーム（BERRY ROOM）を立ち上げ、南町田のコンテンツを企画・発信するコミュニティプログラムの運営を始めた。また、インスタグラムを開設し、運営をサポートすることで、地域プレイヤーの発掘と単発的な活動の場の提供をすることができた。

次年度は、地域プレイヤーがまち運営に関与できる仕組みをつくり、未利用空間の活用を試みる。具体的には、ゲストを呼んだトークイベントもしくはワークショップ形式のマーケットイベントを立ち上げることを目指し、数年かけて徐々に育てていくことで、市民による自発的な取り組みへ移行させていく。

その他、鶴間公園では、ボランティア養成講座を企画して、草花を育てるフラワーボランティアに加え、ドッグマナーの向上を啓発するワンワンボランティアを新たに養成する等、市民を巻き込んだ取り組みを積極的に行っている。

本年度に導入した助成対象事業に対する評価制度に関しては、まちの活性化やブランディングに繋がったかどうかという視点で共通の認識を持つことができた。また、当法人の一方的な評価だけではなく、3施設内でも相互評価をして振り返る機会を創出していく。また、各イベントで実施しているアンケート等を踏まえた効果測定については、今年度に基礎データとして収集したものを、次年度以降は分析方法を検討のうえ、今後の取り組みに活かしていく。

◇2024 年度実施事業の概況

（１）資金助成事業

①資金助成に関する事業

- ・資金助成事業の効果測定の運用を開始

②資金助成を行った主な活動

活動主体	活動名
一般社団法人まちライブラリー	まちライブラリー@南町田グランベリーパーク運営
TSURUMA パークライフパートナーズ	夏休み自由研究大作戦・つまパーク大作戦 さくらフェスティバル・ボランティア養成講座
グランベリーパークマネジメントオフィス	施設間連携支援
株式会社ミュージアム・スタッフ	黒板アートイベント・PLS 夏イベント・PLS フォトスポット設置

（２）資金収集・管理事業

①資金収集に関する事業

- ・新たな資金収集に向けた納付システムの導入

②資金管理に関する事業

- ・月１回程度顧問税理士との会計定例打合せを実施
- ・定期預金口座の開設